

「九州・山口の近代化産業遺産群」

世界遺産シンポジウム in荒尾

三池炭鉱の
世界遺産登録を
目指して



三池炭鉱旧万田坑施設 荒尾市



三池炭鉱宮原坑施設 大牟田市



三角旧港(三角西港) 宇城市



手話通訳対応

日時 **2010** **2/21** (SUN)
12:30~17:30(開場12:00)

会場 荒尾総合文化センター
大ホール 入場無料 定員1000名
熊本県荒尾市荒尾4186-19 ☎0968-66-4111

主催 荒尾市
荒尾市教育委員会
共催 大牟田市 大牟田市教育委員会
宇城市 宇城市教育委員会
熊本県 熊本県教育委員会
福岡県 福岡県教育委員会

後援 「九州・山口の近代化産業遺産群」
世界遺産登録推進協議会
文化庁(予定)
荒尾商工会議所
大牟田商工会議所
宇城商工会

「九州・山口の近代化産業遺産群」 世界遺産シンポジウム in 荒尾 ～三池炭鉱の世界遺産登録を目指して～

平成21年1月、「九州・山口の近代化産業遺産群」は、世界遺産の候補（ユネスコ世界遺産暫定一覧表に掲載）となりました。その中で三池炭鉱は、当時の優れた炭坑産業景観を色濃く残していることで高い評価を受けており、重要な構成資産です。

日本は、幕末における西洋技術の導入以降、非西洋地域で初めて、極めて短期間で飛躍的な近代化を成し遂げました。その過程において、大きな原動力となったのが九州・山口地域でした。

「世界遺産とは何か」「九州・山口の近代化産業遺産群における三池炭鉱の役割」などを専門家から学び、みなさんと一緒に世界遺産登録を目指していくためのシンポジウムです。

基調講演

①「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録への取り組みについて

講師：西村 幸夫氏

東京大学大学院教授 世界遺産特別委員会委員
「九州・山口の近代化産業遺産群」専門家委員会委員長

② 日本における近代の産業遺産と三井三池

講師：後藤 治氏

工学院大学教授 元文化庁調査官
「九州・山口の近代化産業遺産群」専門家委員会委員



構成資産所在地
平成21年12月現在

パネルディスカッション

テーマ：三池炭鉱の世界遺産登録へ向けての今後の展望と課題について

パネリスト：西村 幸夫氏 上記記載

後藤 治氏 上記記載

西山 徳明氏 九州大学大学院教授 万田坑周辺整備懇談会委員

中野 浩志氏 NPO法人 大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ理事長

南 啓介氏 荒尾市観光協会会長 荒尾商工会議所副会頭

コーディネーター

加藤 康子氏 都市経済評論家

「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会コーディネーター



〈スペシャルゲスト〉
シンガーソングライター
あらお観光大使 関島 秀樹氏
万田坑におくる熱い応援歌初披露

このほかに…

オープニング（12時30分～）

○有明高校生徒によるアトラクション披露

太鼓部と吹奏楽部によるコラボレーション

○荒尾高校生徒によるアトラクション披露

書道部と吹奏楽部によるコラボレーション



幕間（午後3時5分～）

○民踊 豊洲会によるアトラクション披露

炭坑節の演舞

エンディング（午後5時30分）

○お楽しみ抽選会

